

提出された意見等及び町の考え方について

1 むかわ町復興拠点施設等整備事業Ⅱ 鷗川地区 エリアデザイン(案)について

No	ページ	項目	意見の概要	町の考え方
1	P1	4 エリアデザインの計画策定プロセス	<ul style="list-style-type: none"> ・計画策定におけるプロセスの中で、このまとめの中にも表現できなかった意見・提案等がたくさんあったと思うことから、その中でも特に特徴的なものを公表してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エリアデザインのプロセス策定において、「エリアデザインのプランニングにおいて、都市と同様なプランニングではなく、むかわ町らしく田舎だからこそそのプランニングが必要ではないか。」 「鷗川地区・穂別地区の両地区を結ぶ連携については、単に鷗川地区に恐竜レブリカを置くだけではなく、穂別地区へ行きたくするようなアクセントが必要」 「エリアデザインは、災害経験や恐竜との繋がりとといったむかわ町の特徴をもった計画にしてほしい。」 以上のような特徴的な意見がありました。 ・現時点のエリアデザインは、鷗川市街地の今後の方向性としてお示ししておりますが、今後の個別施設整備において、これまでいただいた意見・提案を参考に検討してまいります。
2	P5	7 道の駅むかわ四季の館のリニューアルについて(トレーラーホテルの設置)	<ul style="list-style-type: none"> ・シングルユースにトレーラーホテルを使うには広すぎるそうです。 ・もう少し小さいサイズのものもあって良いかと思った。 ・宿泊代はいくらか。 ・素泊まりの方もそうだが、冬の寒い中、お風呂に入って外に出て部屋に戻るの面倒な気がする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーラーホテルにおいては、参入民間業者からの提案内容であり、調達できるトレーラーホテルにより、社会実験を行ってまいります。この実験から四季の館宿泊利用に関する各種データを収集し、今後に向けた宿泊施設のあり方の検討材料とします。 ・宿泊代につきましては、現在民間事業者において、整備に係る準備を進めており、令和8年度に近隣宿泊料を考慮のうえ、民間事業者よりお示しする予定となっております。 ・トレーラーホテルにお風呂に関しては、四季の館の温泉を利用いただく前提で計画しており、設置場所の都合上、一度屋外を経由し、部屋に入る形と社会実験を進めデータ収集してまいります。
3	P5	7 道の駅むかわ四季の館のリニューアルについて(施設全般)	<ul style="list-style-type: none"> ・昔のむかわの町並みを写真パネルにしたりしても良いかと思った。 ・道の駅の管理者について、外部のしっかりした方にやってもらうのも良いかと思う。とにかく人手が足りないことも問題。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昔のむかわの町並みを写真パネルにして掲載する提案については、貴重な意見として今後の整備の参考とさせていただきます。 ・道の駅の管理者につきましては、今後の施設のハード整備とあわせ、運営方法の検討は大きな懸案事項となります。現在の運営手法、外部民間事業者の参入、人手不足に対する対応等、個別施設整備において各種検討し、お示してまいります。
4	P6	8 駅通跡地利用について	<ul style="list-style-type: none"> ・むかわ町民が歴史を知るのも良いが、訪問客にも一番知ってもらいたい所である。 ・「旧駅通跡地」がむかわ町にとってどのぐらい大事なのかがよくわからない。 ・道の駅に来てくれた人にも見せてあげたい。(道の駅から離れすぎではないか) ・旅館だとすれば宿泊場所としても使える施設の方が泊まりたい人もいるかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幕末から昭和初期の北海道において、交通の利便を図るため江戸幕府により人馬を備えた駅舎「鷗川駅通」は、明治43年に建設され、駅通廃止後は民家へ払い下げされ、旅館として鷗川の歴史を見続けていた市街地における最も古い建造物の一つです。 ・町ではこの歴史ある建造物を震災で被災を受け、解体しましたが価値ある古材の保存に努め、再建により鷗川の歴史を語り次ぐシンボルとして、地域コミュニティ機能を持つ施設として旧駅通箇所を拠点にしております。 エリアデザインは7つの拠点を整備し、中央通りを中心として人の賑わう周遊エリアとして、人々の関係を築きあげようと計画しております。 なお、宿泊機能は、温泉施設を持つ観光拠点エリア四季の館周辺に展開する旨、考えております。